



げんざい しゅうがかり
**現在のビリー、飼育係の
手から力強く飛び立ちます。**

5月2日、市民の手により孵化したトビのヒナが動物園に持ち込まれました。そこで鷹匠の技術を持つ飼育員による保育が始まりました。

トビとは? タカ目タカ科

(分布)国内では九州以北に分布

通常は単独かつがいでいるが、漁港など餌が豊富な所では大群で見られる。



このようにヒナのうちから人間に育てられた鳥は人間のことを親だと思ってしまう「刷り込み」がおきてしまいます。トビの場合、生後8日目くらいに「自分が何であるのか?」という刷り込みが始まります。この時、人間としか接触していない場合「自分が人間である」と思いこんでしまうのです。

そのため同種であっても仲間とは認識できないため他の鳥と一緒に飼育することはできません。また繁殖相手も鳥ではなく人間を選んでしまいます。発情がきたら人間に対して交尾をしようとしてくるのです。

当然そのような鳥は野生に返すことはできません。つまり外見は鳥でありながら、鳥としては生きていくことはもうできないのです。そのため動物園ではこのトビを調教し、優雅に大空を飛び回る姿を来園者に見てもらうことにしました。



生後20日目。ヒナのうちのいろいろな場所へと連れ出し、様々な環境に慣らしていくことが大切です。



来園者の前で優雅に飛ぶ姿



100 m先からルアーに向かって飛んでくる姿は迫力満点です。

冬も行います!

時間 毎週水曜日～日曜日
午後2時～3時ごろ
場所 野外ステージ前

※都合により変更・中止になる場合があります。



来園者も体験できます。

カンボジアモエギハコガメの繁殖に成功!

爬虫類館で、**大**ニュース!

平成13年の
目的コウワニ繁殖は
続く快挙!



飼育することが難しいと言われるカンボジアモエギハコガメの繁殖に、今回、国内の動物園・水族館で初めて成功しました。

産卵日
平成 16年 3月 8日

ふ化日
平成 16年 6月 26日